

■ 平成27年度 区政懇談会（下山地区）

日 時：平成27年5月15日（金）

13：30～15：00

会 場：下山コミュニティハウス



（発言）

下山地区の**同報無線**について、平成27年3月16日から運用開始しているが、下山コミュニティハウスの外でもチャイムの音が聞こえない状態だ。救急車のサイレン程度の性能は必要ではないか。今後どのように運用するのかを確認したい。

（回答）

下山地区には同報無線を1基設置しており、その到達距離は600mである。下山コミュニティハウスから設置位置まで直線距離で約800mのため、当初から可聴範囲内には入っていない。現在、県の津波浸水想定の見直しが行われており、その結果、設置基準に該当した場合は、新たな同報無線の設置を検討したい。

同報無線の運用について、年2回の保守点検を実施し、非常時でも72時間稼働可能なバッテリーを搭載している。また、市では同報無線だけでなく防災メール、緊急速報メール、緊急告知FMラジオなどの複数の情報伝達手段の一元化を図り、迅速かつ的確に市民に発信するシステムの運用を図っている。

ただし大きい揺れを感じた場合は、すぐに高台や学校などの津波避難ビルに避難することが一番重要である。各地域・各家庭の実情に合った避難計画をあらかじめ考えていただくため、津波ハザードマップや東区わが家の避難地図づくり講座など、市の様々な制度を活用してほしい。

（発言）

**同報無線**の到達距離が600mとのことだが、これは一番性能がよいものなのか。また、設置場所から海岸まで届くことは確認したのか。

（回答）

外国製の軍用スピーカーで2キロ届くものがあるが、下方向への音の到達が確認されなかったため、市では上下に動かすことができるものを採用した。また、設置個所から海岸まで音が到達することも確認済みである。

(発言)

**同報無線**で自動的に気象庁などの情報を流すのではなく、市の独自の内容を流せるようになっているのか、そのようなものがどこに設置され、緊急時にどのように管理されるのかもお聞きしたい。

(回答)

津波警報など、国からの緊急情報を自動的に流すほか、市役所の危機管理防災局に設置されている操作卓により、市の独自の内容も流せるようになっている。

(発言)

**同報無線**のテスト発信だけ17時に鳴るということではなく、緊急時に実際にどのように鳴るのかを住民に知らせてほしい。

(回答)

早急にお知らせできるよう、検討する。

→ 6月16日に新潟市全市一斉地震対応訓練で**同報無線**を鳴動させた。

今回の訓練では、実際のサイレンを鳴らすことは誤解を招くため、訓練である旨のアナウンスを流したが、災害時には、大きなサイレン音のあと、津波に関する情報がアナウンスされる。

(発言)

自主防災組織加入者および避難所解錠の依頼者について、行政から緊急時の対応が依頼されているが、負傷時などに何らかの**災害補償**を市として検討しないのか。公務員であれば、災害補償基金から様々な補償が出るが、災害対応に従事する人も特別職の公務員として扱えば災害補償ができるのではないか。

(回答)

自分の身が危険であれば、避難所の開設よりもまず逃げてもらいたい。現在、市では地域活動等傷害見舞金で対応しており、ほかの補償制度は考えていないが、市としても課題だと認識している。

(発言)

**平成27年度の建設事業**について、住民要望で決まったものなのか、区で決めたものか。

(回答)

区で道路のパトロールも行っているため、その中で確認し決めたものもあるが、基本的には住民の皆様からの要望を集計し、緊急度の高いところから、予算の範囲内で決めた。平成27年度の工事に関しては、平成26年度の要望を受け付けたものに対して行うものである。平成28年度についても現場を確認する時間等もあるため、早めにいただきたいが、相談は随時受け付けている。

(発言)

河渡中央公園のアカマツは松くい虫にやられて赤く変色しているものが多くある。松を守るために、平成27年度も松くい虫の防除をぜひお願いしたい。

(回答)

平成27年度も松くい虫の防除を行う予定で順次作業を進めている。  
→ 6月3日に、松くい虫防除を行った。

(発言)

太平2丁目にある宮浦公園の水田側の法面にニセアカシアのようなものが茂っており、伐採を建設課に依頼したところ、建設課の管理の対象外との回答であった。法面は公園の範囲にならないのか。大木であるため伐採費用が多く掛かり、町内では出せない。

(回答)

その土地がどこの管理なのか、確認し後日回答する。  
→ 現地確認を行い、6月4日に車道側に越境している部分のニセアカシア、エノキの剪定完了後、法面は公園の範囲になる旨を発言者に連絡し了解を得る。

(発言)

じゅんさい池公園の東池の堆積物の除去作業の時期はいつごろになるのか教えてほしい。

(回答)

平成27年度は測量などの調査をし、それを基に平成28年度の予定を決め、早ければ平成29年度に行いたい。

(発言)

国道113号線について過去に何度か、交差点の改良をお願いしている。建設課から、空港入口と河渡新町交差点については、道路を拡幅してから右折車線を設け、それから矢印信号の設置にとりかかるとのことだった。

通常三車線あるうちのバス専用レーンとなっている区間を撤廃し、道路の真ん中にもう一回中央線を引き直し、交差点に右左折用の車線を設けることは可能なのではないかと建設課に申し上げてきた。しかし、交通規制を一旦解除するともう二度とバス専用レーン等の規制はできないため、それはできないと回答があった。わずか1時間半の規制のために現状の三車線が維持されるのは不合理である。

(回答)

交差点改良の状況について、平成26年度、現地測量や予備設計といった一段階目の測量は設計したが、用地買収の条件が合わないことがあり、現在少し難しいところだ。また、予算の目途も立っていない状況である。平成27年度は地権者との調整を続けていきたい。

バス専用レーンについては、市は公共交通が重要だと考えており、それとのバランスが非常に重要だ。皆様の意見も聞きながら、関係部署に情報を伝える。

(発言)

河渡中央公園のニセアカシアの木と松くい虫の被害を被った松は、どのように処分されるのか。自治会から要望していくのか、それとも建設課が年次計画の中で行っていくのか。また、風が強い時に、松の木の枯れ枝が下に落ちてくる。幼児が散歩に来た際にケガをする恐れがある。

(回答)

確認し、あらためて説明したい。

→ 7月4日に発言者に連絡し、ニセアカシア及び松くい虫の被害を被った松は現地を調査しながら年度内の予算で枝の剪定や伐採処分を行う旨を伝え了解を得る。

(発言)

下山コミ協は、東山の下コミ協とともに、じゅんさい池公園での行事や清掃などに関わっている。じゅんさい池公園を自然公園にしたいというボランティア団体があり、彼らの事業計画をじゅんさい池公園で実施しようとしているが、蜘蛛やハチの巣などを人為的に排除してはいけないなど、ルールが相当厳しい。私たちはじゅんさい池公園を市民の憩いの場として考えており、意見の相違がある。市はどのように考えているか。

(回答)

じゅんさい池は自然がそのまま残されているところ及び人々が集うところと、両方の側面を持っている公園だ。皆様の意見を聞きながら進めたい。